



## 福島の本格的な復興・再生加速への取組みについて

福島復興局

東日本大震災から5年。福島県の避難者数は平成24年5月16万4,865人をピークに減少を続け、平成28年1月現在で10万人を下回りましたが、未だ多くの方々が避難を続けています。

除染作業が確実に進み、県内の空間放射線量は平成23年4月と比べ、大幅に減少、原発事故被災12市町村のうち、避難指示等の解除が、田村市（平成26年4月）川内村（一部平成26年10月）楡葉町（平成27年9月）でなされました。避難者の居住の安定を図るため、公営住宅の整備は、地震・津波被災者向け2,600戸、原発避難者向け1,167戸が完成（いずれも平成28年3月現在）。また、避難解除等区域の復興を、周辺地域から支援するため、常磐自動車道の全線開通（平成27年3月）、JR常磐線広野菟田駅間開通（平成26年6月）等、公共インフラの復旧・整備も進められています。

「集中復興期間」が平成28年3月に終了し、「復興・創生期間」（平成32年度まで）がスタート。福島では、平成29年3月までに帰還困難区域を除いた全ての区域の避難指示を解除し、帰還可能・加速化しうよう「本格的な復興のステージ」の始まりでもあります。

福島復興局としては、福島の復興再生のために創設された制度を活用し、帰還環境の整備や長期避難者の生活拠点の形成を図ること。また、12市町村の将来像有識者検討会提言の速やかな実現に向けて、ハード・ソフト施策の両面から、職員一丸となって取り組んでいきます。

福島県の復興状況については、福島復興局HPにおいてご紹介しておりますので是非ご覧ください。

### ○最近の話題



▲復興再生道路の一つで浜通りと中通りを結ぶ県道原町川俣線 八木沢トンネル貫通（平成28年3月20日）

### ○福島復興局 HP 特集ページ

復興の現場で活躍する方々や福島の魅力（地場産品を使用したスイーツ紹介等）を紹介しています。

<http://www.reconstruction.go.jp/portal/chiiki/hukkoukyoku/fukusima/fukushima-hukkoukyoku.html>

### ○福島の復興のあゆみ

復興の状況や今後の主な取組みをまとめ、定期的に公表しています。

<http://www.reconstruction.go.jp/topics/20140305095138.html>



## 編集後記

新しい東北圏広域地方計画がスタートして初めてとなる担当者会議が5月19日に開催されました。お忙しい中ご出席頂きましてありがとうございました。

今後は計画の着実な推進に向けて推進体制の検討等を行っていくことになります。各構成機関の皆様からのご提案やご協力を引き続きよろしくお願いいたします。

まもなく東北圏も梅雨に入ります。春から夏へ季節が変わるこの時期は寒暖の差が大きく体調を崩しやすいそうです。皆様におかれましては体調管理に十分気をつけてください。

『東北圏だより』に掲載する広域地方計画に関連する情報をお寄せ下さい。また、『東北圏だより』へのご質問、ご意見、ご要望等についても結構です。お気軽に次のアドレスまでメールでお寄せ下さい。メールアドレス：kou-suishin2@thr.mlit.go.jp